

①「文語詩」？「口語詩」？

- ・文語→昔の書き言葉で書かれている
 - ・口語→今の話し言葉で書かれている
- ②「定型詩」or「自由詩」？
- ・定型詩→文字数や表現技法の使い方など形が決まっている詩
 - ・自由詩→形に決まりがなく自由に書かれている詩

※①と②を足して四つに分類される

「文語定型詩」 「文語自由詩」

「口語定型詩」「口語自由詩」

詩によく用いられる表現技法は左のものです。それぞれの特徴をワークや資料集で調べて左にまとめてみよう！

- ① 比喩表現
↓
(1) 直喩
↓
(2) 隱喩
↓
(3) 擬人法
↓
② 体言止め
↓
③ 省略法
↓
④ 倒置法
↓
⑤ 反復法 (繰り返し・リフレイン)

雲間から

① 乾麺みたいに真直な

②陽射しがたくさん地上に刺さり

行手に榛名山が見えたところ

③ 山路を登るバスの中で見たのだ、虹の足を。

眼下にひろがる田圃の上に

虹がそつと足を下ろしたのを！

野面にすらりと足を置いて

虹のアーチが軽やかに

すつくと空に立ったのを！

その虹の足の底に

小さな村といくつかの家が

すっぽり抱かれて染められていたのだ。

それなのに

家から飛び出して虹の足にさわろうとする人影は見えない。

——おい、君の家が虹の中にあるぞオ

乗客たちは頬を火照らせ

野面に立つた虹の足に見とれた。

多分、あれはバスの中の人たちには見えて

村の人々こは見えないのだ。

そのうち、

也人二女見之

自分と世に接するに、三百年の口を

10

^B 幸福に生きていることが――

- (1) この詩の形式としてふさわしいものを一つ選び記号で答えなさい。
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| ア…文語定型詩 | イ…文語自由詩 | ウ…口語定型詩 | エ…口語自由詩 |
|---------|---------|---------|---------|

(2) 作者はどこで虹の足を見たのか。作者のいる場所を本文中より四字で書き抜きなさい。

(3) 傍線部①、②、③に使われている表現技法を漢字で書きなさい。

(4) 傍線部 A、B には省略法が使われている。省略されている言葉を補うとしたら、どのような言葉が続くと適切か、それぞれ本文中より書き抜きなさい。(※A の二箇所は同じ言葉が入る)

(5) 虹の足を見たバスの乗客たちの驚きや感動を示している言葉を、六字で書き抜きなさい。

(6) 虹の足に触れようとする村人がいないのは何故か、その理由を二十字以内で説明しなさい。

(7) 「虹の足」を見たことを作者はどのように捉えているか。本文中より漢字二字で書き抜きなさい。

(8) この詩を通して作者が言いたかったことは何か。「幸福」という言葉を使って自分の言葉で説明しなさい。

(8)	(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)
こ	に	虹	村	頬	A	①	バス
と	の	の	の人々	を	見	直	の中
も	自	足	は	火	た	喻	
あ	分	の	には	照	のだ		
る	で	中	は	う	B	②	
の	は	に	虹	せ		擬人法	
で	気	い	の				
は	付	る	足				
な	か	の	が				
い	ず	に	見			③	
か	幸	気	え	ある		倒置法	
と	福	付	て	の			
い	の	か	い	だ			
う	中	な	ない	う			
こ	で	い	いか				
と	生	村	ら。				
	ま	人					
	て	の					
	い	よ					
	る	う					